



7月4日(日) 稗田川に花を咲かせよう

地域の人たちにとって馴染み深い稗田川を、地域自慢の川にしよう!と、高取まちづくり協議会が活動を始めました。5年間をかけてさまざまな活動をしていく予定で、まずは第1弾として地域住民約200人が中学橋から法響橋の間に彼岸花の球根15,000球を植えました。10月にはライラックや花海棠の植栽も行う予定です。

地域の皆さんの力で、きっともうすぐ花と緑にあふれた美しい稗田川を見ることができるようでしょう。

ロボットクラブ 今年も大活躍!

毎年、素晴らしい活躍を見せてくれるたかほま夢・未来塾のロボットクラブ。今年の世界大会はシンガポールで行われ、「Team Takahama Little」が第3位の栄光に輝きました。大会に出場した選手二人の感想を紹介します。



村田紹望くん(南中学校1年)

僕は、シンガポールで行われたロボカップの世界大会に出場し、海外チームとの交流や、技術を学んできました。

世界のロボットは、去年よりもレベルが高くなっていて、日本では見たことも無いスピードやパワー、キック力があり、とてもびっくりしました。特に、イランとポルトガルのチームのロボットは、本当に強かったです。ポルトガルのルイと仲良くなれて、メールでロボットのことを教えてもらっています。去年、友達になったドイツのパスカルもですが、自分のロボットの技術を隠すわけではなく、教えてくれるので、すごいなあ、と思います。

大会中、うれしかったことが二つありました。一つはロボットが動かなくなり困っている時に他のチームの人が部品をくれたり、ロボットと一緒に直してくれたこと。もう一つは、対戦相手が、「僕たちが試合に勝ったけど、まだ友達でいてくれる?」と、話しかけてきてくれたことです。

メールを通して、日本だけではなく、世界の人たちと交流ができるので、せっかくできた友達と交流を続けていきたいと思っています。



杉浦佑斗くん(翼小学校6年)

世界大会に出場して、おどろいたことがたくさんありました。

まず、世界のロボットは高そうな部品を使っていて、とてもお金がかかってそうだと思いました。そして試合中に点が入ると日本は拍手くらいだけど、世界のチームの応援は、ものすごく良かったです。

他にもプッシュゴール・ダブルディフェンスなどの審判へのこうぎもはげしく、日本の大会とはまったく違うなと思いました。

あと、日本から持っていった扇子に、スーパーチームでいっしょになった人、仲良くなった人にサインをもらって、とても良い思い出ができました。

来年はBコート(※)なので、しっかり勉強してがんばりたいと思います。

※コートには、バージョンAとバージョンBがあり、バージョンAはサッカーコートのライン=壁となっているが、バージョンBはサッカーコートのラインの外側に壁がある。